

SEKISUI

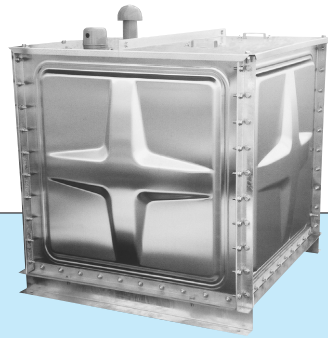
セキスイ一体型タンク



●耐震仕様：1.5G

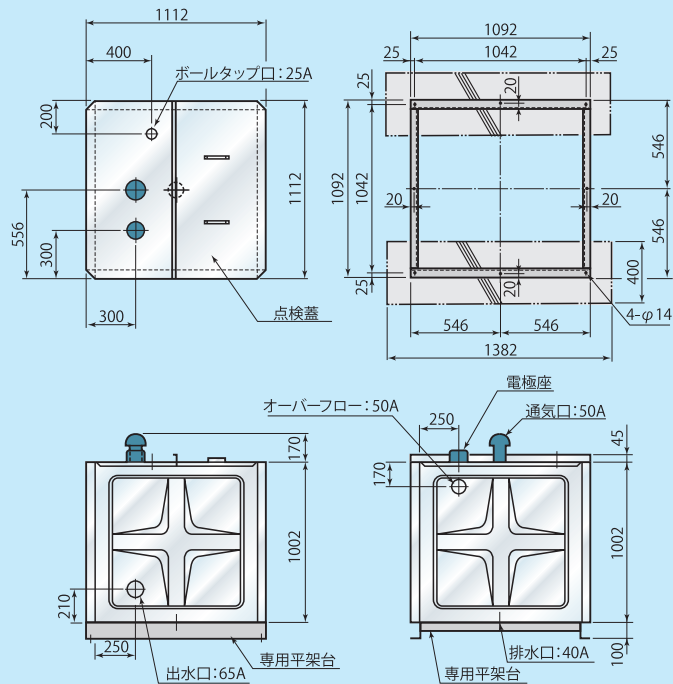
ボルト組立形ESII型

SUS製消火補給水用

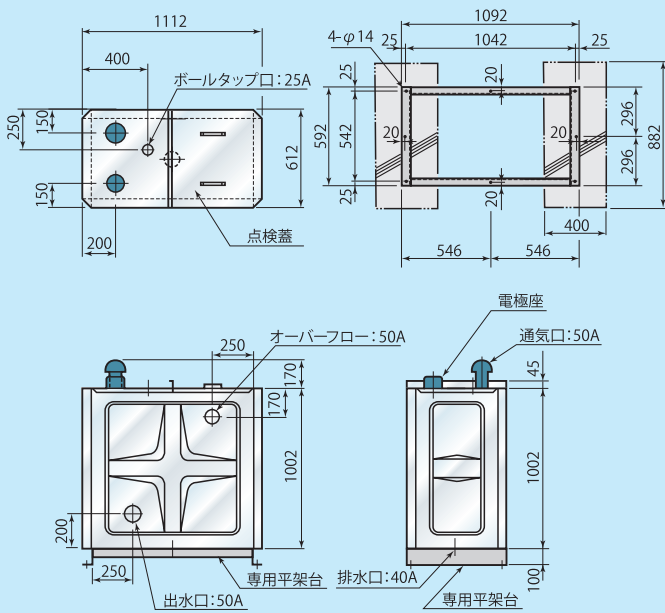


■寸法図(1.5G)

■ESII-10型



■ESII-05型



■部品表

A	L-100×60×3.2
B	L-50×50×4
K1	4-φ14タンク据付ボルト(M12)

J	4-φ14アンカーボルト孔(M12×145L 接着系SUS)
---	--------------------------------

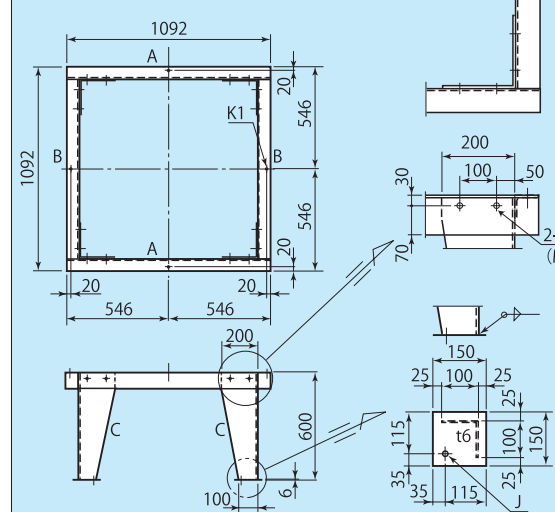
〈注意〉①取出口の口径・取付位置の変更はできません。(全て内ネジ式です。)
②外タラップはオプションで準備します。(内タラップは取付できません。)

- ①現場で組立・設置が簡単なボルト組立形です。
- ②本体材質はSUS444です。
- ③電極座・通気口・取出口などの必要部品をセットしています。
- ④取出口全ては内ネジ式で、現場での配管工事が容易です。
- ⑤専用平架台はSS400に溶融亜鉛メッキです。
- ⑥オプション脚付き架台：600mmH平架台があります。

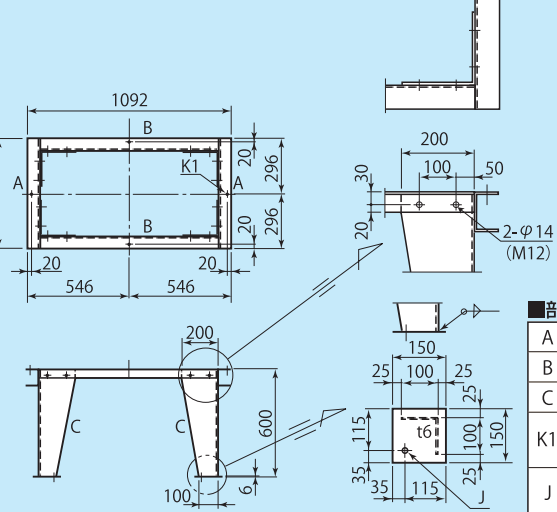
- 電極座 材質：PVC サイズ：PF2"
- 通気口 材質：ABS サイズ：50A

■オプション脚付き架台

■ESII-10型用



■ESII-05型用



■部品表

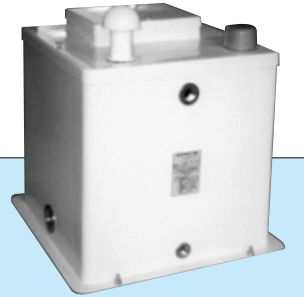
A	L-100×60×3.2
B	L-50×50×4
C	t 4.5
K1	4-φ14タンク据付ボルト(M12)
J	4-φ14アンカーボルト孔(M12×145L 接着系SUS)

本体、架台及びアンカーボルトの詳細については、必ず当社図面にてご確認ください。

●耐震仕様：1.5G・2.0G

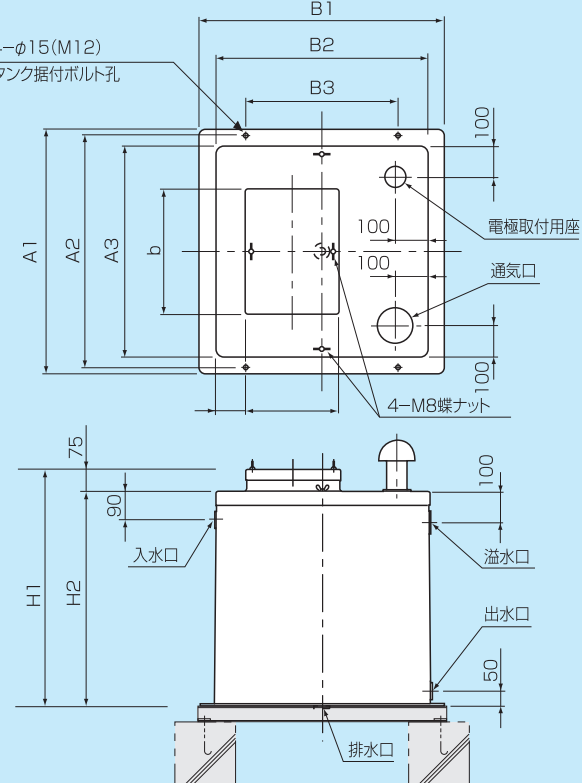
SE/SED型

FRP製消火用補給水用 FRP製膨張用 (FRP単板・FRPサンドイッチ構造)

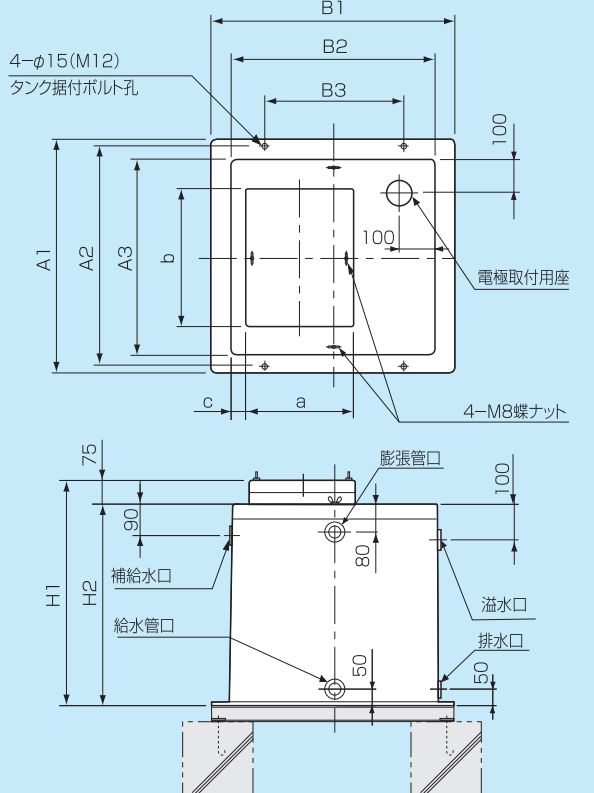


■寸法図(1.5G)

■消火用補給水槽



■膨張用



■寸法表(消火用補給水槽)

単位:mm

呼称容量(ℓ)	50	100	200	300	500	1000
A1	410	560	700	800	900	1100
A2	370	520	660	760	860	1060
A3	300	450	600	700	800	1000
B1	500	690	700	800	900	1100
B2	450	600	600	700	800	1000
B3	250	400	400	500	600	800
H1	525	525	675	775	875	1390
H2	450	450	600	700	800	1200
a	200	200	300	300	400	—
b	180	180	400	400	300	—
c	50	100	50	100	100	—
参考質量(kg)	50 (55)	65 (70)	70 (75)	85 (95)	110 (125)	165 (190)
取出口口径(A)	通気口	50	50	50	50	50
	入水口	15	25	25	25	30
	出水口	20	20	20	25	30
	溢水口	30	30	30	30	40
	排水口	20	20	20	25	30

- 電極座：PF2"
- SED型はFRPサンドイッチ構造。()はSED型を示す。
- SE (D) 50・100の蓋は平蓋。SE (D) 1000の蓋は円蓋です。(φ600)
- 取出口口径・位置は標準。別設計も可能です。
- 膨張用の耐熱温度は最高使用温度：80℃です。
- 架台は平架台・高架台・ブラケット架台の3種を用意しています。
- 参考質量は架台(平架台)を含みます。

本体、架台及びアンカーボルトの詳細については、必ず当社図面にてご確認ください。

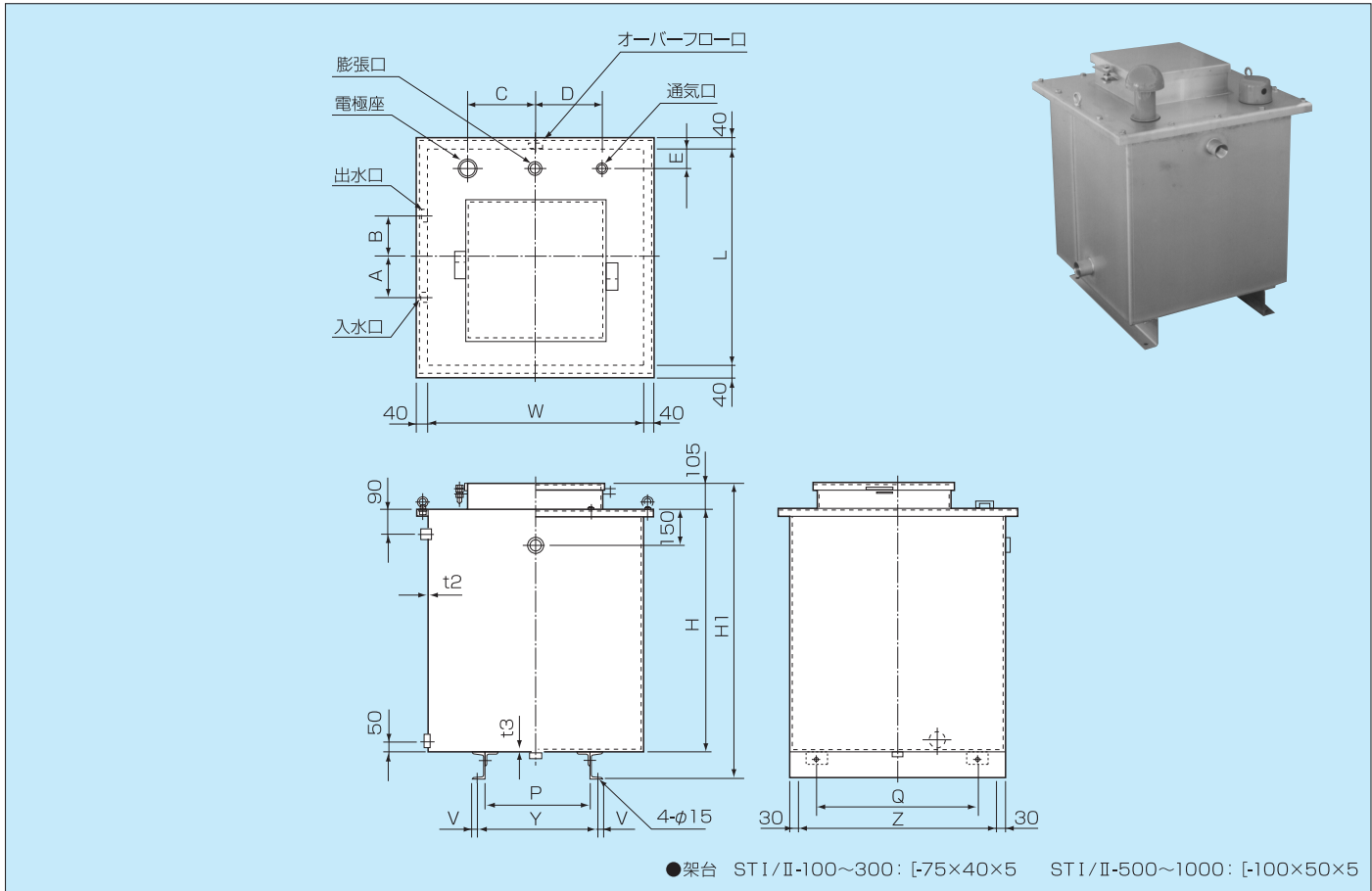
●耐震仕様：1.5G・2.0G

STI/STII型

SUS製膨張用

SUS製消火補給水用

■寸法図(1.5G)



■寸法表

呼称容量 (ℓ)		100	200	300	500	750	1000
W		500	600	700	800	900	1000
L		500	600	600	800	900	1000
H	STI	500	650	800	900	1000	1100
	STII	600	750	950	1000	1150	1200
H1	STI	680	830	980	1105	1205	1305
	STII	780	930	1130	1205	1355	1405
t2・t3		3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0
質量 (kg)	STI	55	76	113	162	205	245
	STII	59	82	125	173	222	258
取出口位置	A	100	100	150	150	200	200
	B	100	100	150	150	200	200
	C	175	200	225	250	300	350
	D	175	200	225	250	300	350
	E	65	75	75	75	75	100
架台	P	390	490	590	390	490	590
	Q	200	300	300	600	670	750
	V	18	18	18	20	20	20
	Y	434	534	634	450	550	650
	Z	440	540	540	740	840	940
取出口口径(A)	入水口	20	20	25	25	32	32
	出水口	25	25	32	32	40	40
	オーバーフロー口	25	25	32	32	40	40
	排水口	20	20	20	20	25	25
	膨張口 STI	25	25	32	32	40	40

●電極座材質 STI:SUS304 STII:PVC ●電極座:PF 2" ●通気口材質 STI:SUS304 STII:ABS ●質量は架台を含みます。

- ①点検口:大きく、両ネジ開き、片側施錠ボルト・パッキン付き。 ②STI/STII型:機械設備工事標準図寸法に適合。
③吊りフック:STI/STII-300以上に標準装備。 ④平架台:SS400に溶融亜鉛メッキ ⑤オプション部品:300mmH平架台、高架台、ブラケット架台

本体、架台及びアンカーボルトの詳細については、必ず当社図面にてご確認ください。

●耐震仕様：1.0G・1.5G・2.0G

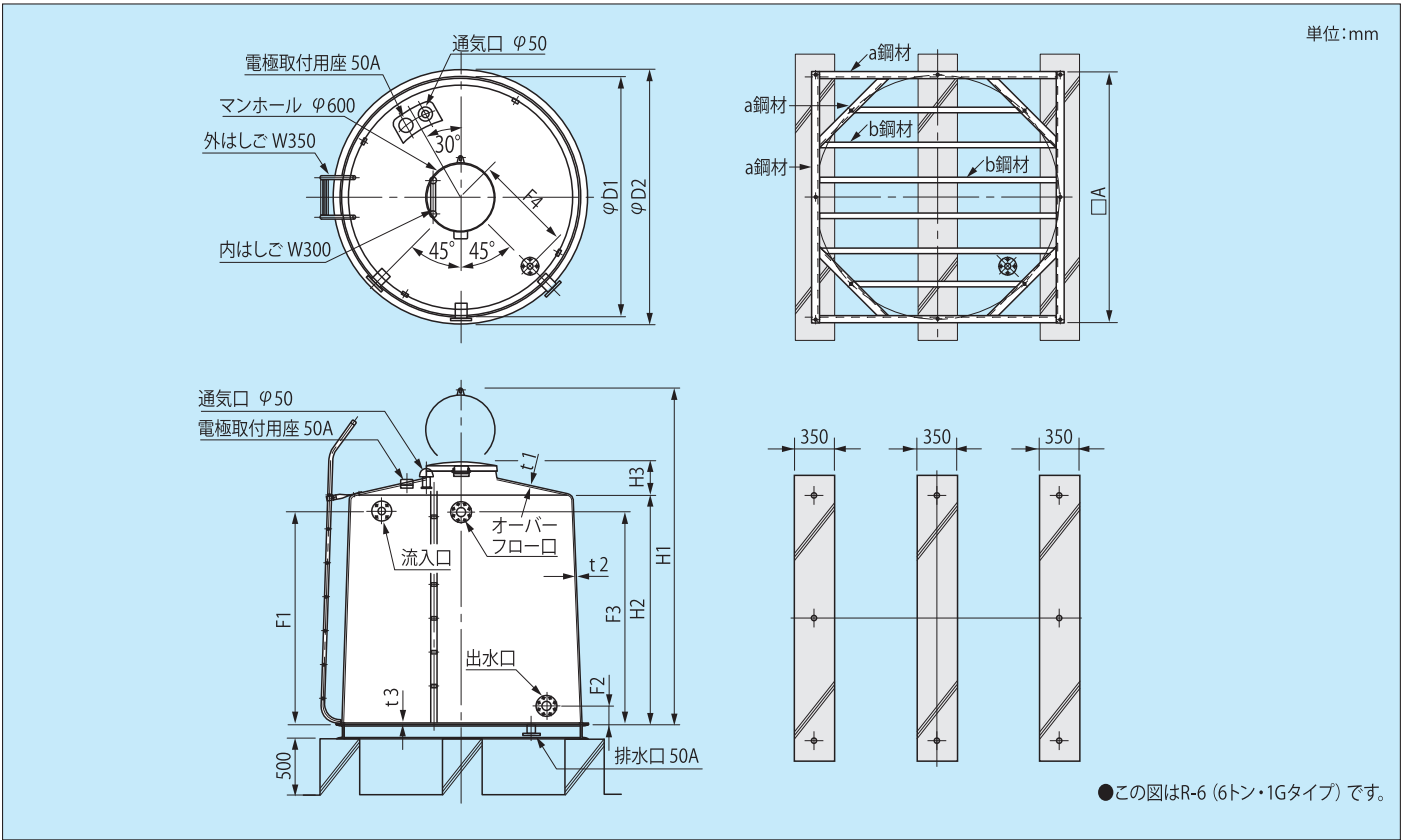
RS/RSD型

〈円筒型〉

FRP単板

FRPサンドイッチ構造

■寸法図



■寸法表

呼称容量m ³		0.5	1	1.5	2	3	4	5	6
φD1		900	1150	1300	1430	1620	1800	1950	2130
φD2		1000	1250	1400	1530	1720	1900	2050	2240
H1		1757	1987	2157	2308	2557	2727	2847	2992
H2		960	1160	1310	1440	1660	1810	1910	2040
H3		160	190	210	240	260	280	300	294
板厚 (1.0G)	t1	単板	2	3	3	3	3	4	4
		複合板	14	14	14	14	14	19	19
	t2	単板	3	3	3	3	4	5	7
		複合板	14	14	14	14	14	19	19
	t3	単板	3	4	4	4	5	5	6
		複合板	14	14	14	14	14	19	19
板厚 (1.5G)	t1	単板	2	3	3	3	3	3	4
		複合板	14	14	14	14	14	19	24
	t2	単板	3	4	4	4	5	6	8
		複合板	14	14	14	14	14	19	19
	t3	単板	3	4	4	4	5	5	6
		複合板	14	14	14	14	14	19	24
取出口口径(A)	流入口	32	40	40	50	50	50	65	65
		40	50	50	65	80	80	80	80
	オーバーフロー口	40	50	50	65	65	65	80	80
		32	40	40	40	40	40	40	50
	排水口	50	50	50	50	50	50	50	50
		50	50	50	50	50	50	50	50
取出口位置	F1	1000	1220	1380	1520	1730	1890	1995	1900
		70	85	85	100	115	115	115	160
	F2	940	1110	1270	1380	1590	1720	1825	1890
		125	240	350	375	435	545	580	870
	F3	22	39	50	67	95	133	170	180
		23	44	55	78	108	153	200	210
質量 (kg)	R	1.0G	24	36	45	54	83	125	150
		1.5G	26	38	48	65	102	171	210
	RD	1.0G	24	36	45	54	83	125	150
		1.5G	26	38	48	65	102	171	210

■架台使用鋼材(1.0G)

容量 (m ³)	鋼 材		□A	据付金具 (個)	アンカーボルト (本)	架台質量 (kg)
	a	b				
0.5	[-75×40×5×7]	L-50×50×4	966	4×M12	4×M12	45
1		L-50×50×6	1216	4×M12	4×M12	65
1.5		L-50×50×6	1366	4×M12	4×M12	85
2		L-65×65×6	1496	8×M12	4×M12	105
3	[-100×50×5×7.5]	L-75×75×6	1696	8×M12	4×M12	145
4		L-75×75×6	1876	8×M12	6×M12	175
5	[-125×65×6×8]	L-75×40×5×7	2030	8×M12	6×M16	230
6		L-75×40×5×7	2230	8×M12	8×M16	290

■架台使用鋼材(1.5G)

容量 (m ³)	鋼 材		□A	据付金具 (個)	アンカーボルト (本)	架台質量 (kg)
	a	b				
0.5	[-75×40×5×7]	L-50×50×4	966	4×M12	4×M12	45
1		L-50×50×6	1216	4×M12	4×M12	65
1.5		L-50×50×6	1366	4×M12	4×M12	85
2		L-65×65×6	1496	8×M12	4×M12	105
3	[-100×50×5×7.5]	L-75×75×6	1696	8×M12	4×M12	145
4		L-75×75×6	1876	8×M12	6×M12	175
5	[-125×65×6×8]	L-75×40×5×7	2030	8×M12	6×M16	230
6		L-75×40×5×7	2230	8×M12	8×M16	290

- 電極座:PF2"
●0.5トン:外・内はしごなし。1.0から2.0トン:内はしごなし。
●2.0G仕様の場合はお問い合わせください。

本体、架台及びアンカーボルトの詳細については、必ず当社図面にてご確認ください。

取扱注意事項・保守点検・補修・保証

ご注文に際してのお願い

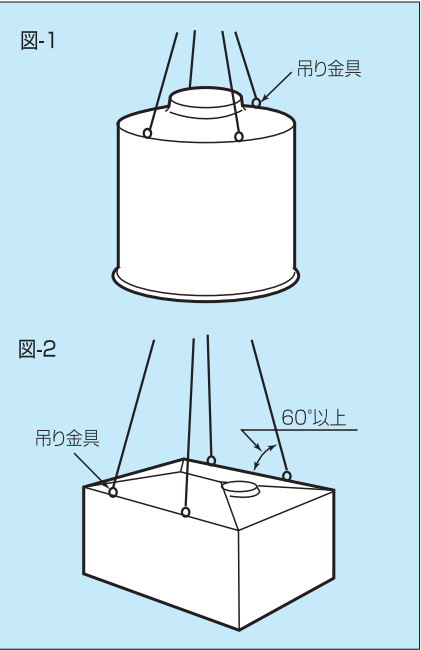
- 下記事項について、必ずご連絡ください。
- ①水槽形式（単板形・保温板形）
 - ②容量・寸法（幅・長さ・高さ）
 - ③耐震グレード（KH=1.0、1.5、2.0）
 - ④積雪（標準・多雪）、風荷重
 - ⑤取出口、電極、通気などの
口径および個数と位置
 - ⑥特殊仕様やオプション部品の有無
 - ⑦水槽設置場所の詳細
（地上・建物内地下または1階・中間階・最上階・屋上・塔屋内）
 - ⑧基礎形状（当社標準または特殊形状）
 - ⑨架台形状（平架台・高架台）
 - ⑩追加設計の有無と内容
 - ⑪納入先名・連絡先住所・電話番号など
 - ⑫その他、特殊な仕様内容・必要事項
- ご指定の仕様については、当社提出図面にてご確認ください。
- コンクリート基礎・アンカーボルト取付位置などは、当社図面を参照の上、施工してください。

荷受けについてのお願い

- 水槽及び部材類は、館側車上渡しです。
据付場所までの搬入および据付けをお願いします。

運搬・吊り上げ・据付けについて

1. 据付架台
水槽を据付ける際、架台が不適当な場合には水槽が破損する恐れがありますので、架台参考図に基づき製作・据付し、特に鋼材寸法・水平度及び架台の支持箇所などに注意してください。
2. 運搬
水槽がロープや車体に接する部分には、必ず緩衝材をあて、取付部品（管取出口・通気口その他付属部品等）やマンホールなどに、直接ロープをかけないようにしてください。
3. 吊り上げ
●水槽に吊り上げ金具が付いている場合は吊り上げ金具を使用し、付いていない場合は角材などで底部を支えロープをかけてください。
なお、取付部品（管取出口・通気口その他付属部品等）やマンホールなどに、直接ロープをかけないようにしてください。
●吊り上げロープ又はワイヤーは、本体重量に合った適切なものを使用し、吊り上げ角度は60°以上としてください。
●水槽を吊り上げる時は、地上約30cmの高さで吊り上げた状態にして、安全を確認してから吊り上げてください。



- 吊り上げ途中で鉄骨や足場などの突起物に当たらぬように注意してください。水槽の横揺れを防ぐために、水槽からガイドロープをとって地上から調整しながら吊り上げる方法が安全です。
- 吊り上げた後、直ちに基礎又は架台に据付固定をしてください。やむをえず一時放置する場合は、風で吹き飛ばされることのないようロープなどで仮固定してください。
4. 据付
●据付時は、架台の支持箇所を確認し確実に固定してください。
●外部トラップは、上下部とも所定の部位に確実に固定してください。

配管上の注意

- 配管の接続要領は、耐震設計基準に準じて行ってください。
●配管施工は水槽本体側から行ってください。
●配管作業は、水槽の取出口と芯ズレがないように注意してください。また、管やバルブの自重を受ける支持を取り付けてください。
●オーバーフロー管の末端は、適切な間接排水とし防虫網を取り付けてください。
●配管施工時のゴミ・切り粉などが水槽に入らないように配管をフラッシングしてから、水槽に接続してください。
●地震時に取出口への集中荷重を避けるため、フレキシブルジョイントをご使用ください。

取扱い上の注意事項

- 注 意**
1. 安全上の注意
●トラップの昇降は転落しないよう注意して行ってください。
●天井部で作業する場合は、転落しないよう安全に注意してください。（高所での作業は関係法令を遵守して行ってください。）
●水槽内で作業する場合は、酸欠の恐れがありますので必ず換気してください。
●水槽内で作業する場合は、転倒しないよう安全に注意してください。
2. 使用上の注意
●使用前には必ず消毒を行ってください。
また、長期間貯留水を滞留させた場合は、使用前に滞留水を排水してください。
●天井部には重量物を乗せたり、衝撃を与えないでください。
●マンホールから小動物や異物が混入する恐れがありますので、作業時以外は必ず完全に閉め、施錠してください。
●水槽の破損や小動物の侵入を防ぐため、通気口及びオーバーフロー管の防虫網の目詰まりや破損がないことを確認してください。
●ドライバーやスパナなど金属工具類を水槽にぶつけないでください。
●水槽に火気を近づけたり、近くで火器を使用しないでください。
3. メンテナンス上の注意
●年1回以上、定期点検及び清掃を行ってください。
●FRP製または鋼板製水槽内面の汚れ落としには、プラスチック製のタワシやブラシなどの柔らかい物を使用してください。
●ステンレス製水槽内面の汚れ落としには、ナイロンタワシや不織布タワシなどを使用してください。
●金属部には、必要に応じて適切な塗装などを施してください。
●水槽内外のボルト類を緩めたり、部品を取り外したりしないでください。
●アンカーボルトの点検をしてください。緩みや著しい腐食があると、地震時に水槽が転倒や移動することがあります。
4. その他
●2槽式水槽の場合、片槽清掃時は安全のために使用側水槽の水位を半分以下に下げてください。
●地震・台風などの異常事態が発生した時は、その都度点検してください。

維持管理・清掃について

水槽の維持管理（清掃）については、水道法などで有効容量10m³を超えるものについては、年1回以上の定期的な保守点検が義務づけられています。
（有効容量10m³以下でも、水槽の重要性から自主的に対応することが必要とされています。）
水槽の維持管理を怠りますと、水質の悪化や安定供給する機能を損なう恐れがあるなど、いろいろなトラブルの原因となることがありますのでご注意ください。
水槽の維持管理作業は、当社「取扱説明書」などに準じて実施してください。なお、保守点検・清掃作業は、専門的な知識・技術・用具などが必要となりますので、当社の水槽メンテナンスグループまでご相談ください。

補修について

水槽本体に異常がある場合、もしくは誤って破損された時は、次の点をご確認の上、もよりの当社特約店が営業所までご連絡ください。
①水槽の設置場所と点検依頼のご連絡先
②水槽の設置年月日
③水槽の寸法（幅・長さ・高さ）
④水槽の設置状況
（屋内・屋外・屋上・高架台上など）
⑤異常もしくは破損の内容
⑥補修作業可能な日時
⑦作業用電源及び足場などの有無
なお、補修内容によって補修費を実費でいただくことがありますので、ご了承ください。

保証について

セキスイタンクは納入完了後2年間保証するものとし、保証期間中、当社の責に帰すると認められる欠陥により、貯水機能に異常が生じた場合に限り、無償で補修いたします。
ただし、当該保証期間中といえども、次の各号の1に該当する場合は、この限りではありません。
①荷渡し後の施工中の取扱いの不備に起因する場合。
②架台・基礎の不良、及び水槽との固定方法の不備に起因する場合。
③適切な配管が行われない事に起因する場合。
④常温の飲料水以外の用途に使用された場合。
⑤異常な外力や圧力、高温、腐蝕性ガスなどの影響による場合。
⑥運転、取扱いの不備、並びに適切な維持管理を怠った場合。
⑦天変地異、不可抗力に起因する場合。

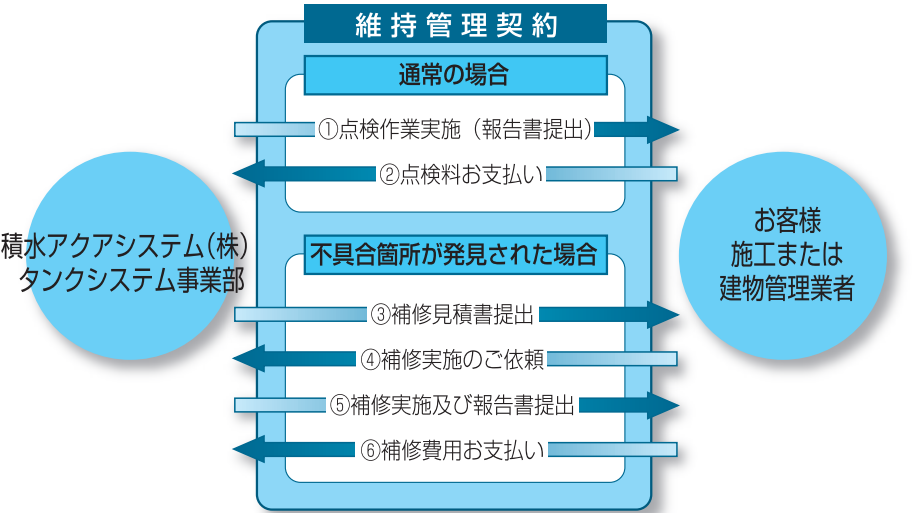
耐震診断と改修について

1995年（平成7年）12月25日から施行された「建築物の耐震改修促進に関する法律」により、既設建築物において耐震性の有無を確認する耐震診断を行い、基準に満たない建物については、耐震改修の実施が必要となりました。同様に水槽も耐震診断を行い、新耐震基準に適合しないものについては、耐震改修が必要となります。
水槽の耐震診断はメーカーにて確認するよう指導されており、セキスイは「既設特定住宅部品診断士」をおき、適切なアドバイスと新耐震基準に適合した水槽の据付け・施工までの支援サービス体制を整えております。
詳しくはお問い合わせください。

有償維持管理について

当社では、水槽の機能・性能を長期間保持するために、また維持管理にともなう各種ニーズにお応えできるよう、水槽のメンテナンス体制を整えております。
お客様のご要望により、新設・既設の水槽の維持管理契約をしていただくことができます。
ご契約していただきますと、毎年1回、専門家

による点検診断・清掃作業、不具合箇所の早期発見などを行い、「給水タンク定期点検診断報告書」「給水タンク清掃報告書」などにより、お客様へ適切にご報告いたします。なお、万一不具合箇所が発見された場合は、修理または部品交換などの見積書を添えてご報告し、お客様の指示に従って必要な処置をいたします。



水槽のメンテナンス お問い合わせ先

積水アクアシステム株式会社

- タンクシステム事業部**
リニューアル営業部 東京営業グループ
〒104-0045 東京都中央区築地4-7-5（築地KYビル8F）
Tel. 03(5565)6522・Fax. 03(5565)6523
リニューアル営業部 大阪営業グループ
〒531-0076 大阪府北区大淀中1-1-30（梅田スカイビルタワーウエスト21F）
Tel. 06(6440)2524・Fax. 06(6440)2527
- 東北営業所**
〒980-6010 仙台市青葉区中央4-6-1（SS30ビル10F）
Tel. 022(745)5295・Fax. 022(745)5297
- 中部営業所**
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19（住友生命名古屋ビル12F）
Tel. 052(582)7711・Fax. 052(582)7714
- 九州営業所**
〒810-0802 福岡市博多区大博町1-2
Tel. 092(261)7250・Fax. 092(281)1322
- 沖縄営業所**
〒900-0004 那覇市銘苅1-16-11-201
Tel. 098(866)5735・Fax. 098(866)5736

特約店

積水アクアシステム株式会社 タンクシステム事業部

お問い合わせは下記営業所または取扱代理店までお願いします。

東京営業所

〒104-0045 東京都中央区築地4-7-5（築地KYビル8F）
Tel. 03 (5565) 6520 ・ Fax. 03 (5565) 6521

大阪営業所

〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-30（梅田スカイビルタワーウエスト21F）
Tel. 06 (6440) 2525 ・ Fax. 06 (6440) 2527

東北営業所

〒980-6010 仙台市青葉区中央4-6-1（SS30ビル10F）
Tel. 022 (745) 5295 ・ Fax. 022 (745) 5297

中部営業所

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19（住友生命名古屋ビル12F）
Tel. 052 (582) 7711 ・ Fax. 052 (582) 7714

九州営業所

〒812-0033 福岡市博多区大博町1-2
Tel. 092 (261) 7250 ・ Fax. 092 (281) 1322

沖縄営業所

〒900-0004 那覇市銘苅1-16-11-201
Tel. 098 (866) 5735 ・ Fax. 098 (886) 5736

-
- ホームページアドレス <https://www.sekisuia.co.jp>
 - 仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

